

ごあいさつ

「愛・知・みらいフォーラム」は、2005年の愛知万博を契機として2007年に設立されたNPO法人（特定非営利活動法人）で、未来を担う青少年が、環境・貧困・紛争などの地球規模の課題を自らの日常生活とのつながりの中で理解するための教育的支援（国際理解教育）を行うことを活動の目的としています。

通年で行う県内の中・高等学校への「出前授業」のほか、夏休みに意欲ある高校生を対象に「特別講座」を開催し、通常の授業ではあまり取り上げられない地球規模の課題について共に学び議論を進めることで、地球市民としての生き方を考える刺激的な機会を提供してまいりました。

当フォーラム設立の中心となった加藤延夫前理事長（元名古屋大学総長、1930年生まれ、本年5月逝去）は、生前、この「特別講座」の中で、自らの青少年期の体験から、平和の尊さを、さらに、さまざまな情報があふれる社会の中で、何が真実かを自ら見極めることの大切さを訴え続けてこられました。この思いを引き継ぎ、今年は、難民問題や食品ロスを題材に、「SDGsの達成のために、今できること」を、高校生の皆さんに自分ごととして考えていただくこととしました。

中西久枝 同志社大学大学院教授による講話、佐藤久美 名古屋国際工科専門職大学教授、羽田野真帆 名古屋難民支援室コーディネーター及び百瀬則子 中部SDGs推進センター副代表理事による授業を受けたのち、参加した31人の高校生が6つのグループに分かれて、ファシリテーターとして加わっていただいた高校の先生方のアドバイスを受けながら討論し、その結果を全体会で報告してもらいました。

本冊子は、その概要を取りまとめたものです。参加した高校生の皆さんのしなやかな感性と豊かな発想に基づく、率直な意見や感想を紹介しておりますので、お目通しいただければ幸いです。

最後に、今回の「特別講座」のために貴重な時間を割いていただいた講師、ファシリテーターの方々に心より感謝申し上げますとともに、共催者として格別のお力添えをいただいた愛知県国際交流協会（AIA）の職員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

2025年11月

特定非営利活動法人
愛・知・みらいフォーラム
理事長 平松 直巳